

「夢」

校長 滝口健二



夏休みが終わり、緊急事態宣言が延長される中、そろそろ前期の終わりを迎えます。学校では感染症対策を強化し、少しでも時間を短縮しながら、ほぼ通常通りの授業ができています。

それでも、9月中の部活動は活動中止。それを受けて市の新人戦も見合わせている状態です。また、本来なら生徒を集めて行われる英語発表会は音源審査。青葉の森を会場にした千葉市中学校総体駅伝の部は中止。何といても残念なのは、修学旅行の中止です。これまで、新幹線を利用した北陸への2泊3日から千葉県内の旅行に、更には泊数を1泊に変更するなどして、何とか実施の道を探り、生徒主体に進めてきたところだったので残念でなりません。このように多くの教育委員会主催行事、学校行事が中止や延期、縮小を余儀なくされています。今後予定されている、合唱コンクールや校外学習にまで影響が及ぶことのないことを祈るばかりです。

こうした情勢ではありますが、いやこうした情勢だからこそ、生徒の皆さんには「夢」を持ち続けてほしいと思っています。将来の職業や生業なりわい（生活のスタイルや生計を立てるための仕事）、住みたい場所、家、進路や資格、スポーツ活動や芸術活動での成績等、「こうなりたい」「これを手に入れたい」「こんな生活がしたい」・・・

人それぞれだとは思いますが、何でもいいと思います。「夢」と呼ぶか「目標」と呼ぶか、いずれにしろそうしたものを抱いている人は、生きていく力がどこから湧いてくるはずです。これは私の持論ですが、『夢は自分がそれをあきらめたときに本当に夢となってしまう。あきらめない限り、追いつける限り、現実に変化する可能性は終わらない』

「夢」を持ち続けよう！